

吉田 洗尾

世話好きの妻避難所で生き返る
百態の老人もいて夜もすがら
レトルトの方が味良い宿の膳
本当に平和かどうか世の乱れ
半分は無駄な薬と知って飲む
便利だが勿体ない紙オムツ
夢ン中自分の色に塗ってみる



原島 スベル

ひきこもり世間の音は聞こえてる
商人の金庫に手を出す政治ゴロ
人住まぬ屋敷の池の鯉一尾
うとましい世に永らえる冬の蠅
外苑を切る企業へと天下り
ローン組み買っても武器を使えない
肥後守昔の傷が甦る

武田 けいこ

パツと目をそらせたでしよう何かある
栄養価知れば残せぬ鮭の皮
教えてよ何かいいことあったのね
大人なら本音は言わず我慢する
大掃除やりつつテレビ見る余裕
焼き餃子皮も自慢のこだわり派
むこうずねぶつけたドアを睨みつけ



渡辺 三子

乱高下株が血圧狂わせる
終活を始めていますぼちぼちと
ワニ革の財布の割にケチな奴
六十年よくぞもったり赤い糸
インバウンド横目で見てる小商人
いとま乞いそのそろそろが言い出せず
難解句ぼくの作ならボツだろう



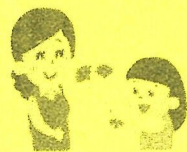
諸岡 ちえこ

面目を保つ体裁とりつくる
身についた母にそっくり言葉じり
買い食いのおかずで子らはよく育つ
デパ地下が節約の場とされる
なってみて初めて人の痛み知る
つらかった術後経過が嘘のよう
何見ても無関心さのメール好き

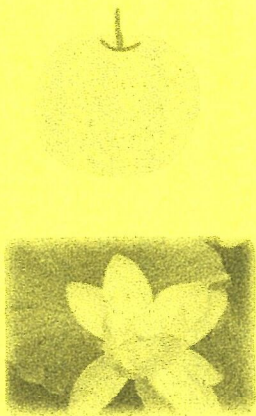


課題吟 「好き」

ばあば好き言われ財布の紐緩む
満月のようにはならぬ夫婦仲
お十夜の市のおごりにおでん買っ
性格のちょっと曲がった人が好き
イケメンの活躍何度観ても好き
初恋は心の奥にしまっとく
好きな物買っていいよと見栄をはり
キスキスキス並べて見るとよくわかる
秋の風野に咲く花も蝶も好き
好き嫌いなくてベルトが背伸びする
缶ビール飲める入院ならします
他人の血貰って酒が好きになり



ばあば好き(敬老の日)



千葉公園大賀ハス